



東山小学校だより

令和 2年12月10日

※ 町内配付12月10日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

学校の冬支度!?

学校の玄関が冬らしくなってきました。まずは早々にX'masツリーが登場しました。今年はモールなどのお決まりの飾りではなく、1,2年生と5,6年生が図工の授業で作った色とりどりの風船張り子とステンドグラス調の星飾りが電飾とともに飾られています。風船張り子の方は季節は違いますがイースターエッグのようにも見えます。柔らかく優しい感じがしてとても良いです。

そして、いよいよ昨日からスキーの課外活動が始まりました。まずは玄関のワックス作業場作りです。大小様々な道具を体育館から手分けをして運び、ベニヤ板とブルーシートを敷いて、長机二つにバイスを取り付けました。作業場ができると、いよいよだなあという感じがします。昨年は雪が降らず、ほとんど出番無しの作業場でしたが、今年はフル稼働してほしいものです。

さらに昨日、もう一つ新しいものがお目見えしました。玄関のガラス戸に描かれたX'masらしい絵や文字です。これまた4年生が図工の授業で描いたものです。自由にのびのびと描かれていて、なんだかあったかい気持ちになります。厳しい冬へのちょっと心温まる冬支度…どなた様も是非ご覧においでください。



一方、こちらも学校の冬の風物詩…体育館には鉄棒が設置されました。安全面を考慮して、遊んで良いのは昼休みに先生が監督に付ける時だけとしていますが、当番の先生が体育館に現れると、子どもたちが次々と鉄棒に集まってきます。順番に自分の得意技を先生に見てもらおうと、「先生見て～」の声が聞こえます。得意げな顔の子どもたちと笑顔で見守る先生…実に微笑ましい冬の光景です。

もちろん、本当の意味での冬支度（雪囲い、窓板付け、フェンス・ネット外し、除雪機の準備、落ち葉掃除 等々）は、山崎管理士さんが今年もきっちりと進めてくれています。

今週末から来週にかけて寒波が入るようで、ついに予報に雪だるまのマークがつかしました。いよいよ冬本番です。



「魅力発信！自分すてき★宣言」

- 自分の良さや頑張りを見つめ直そう
- 自分をほめよう
- 美しい言葉を使い慣れよう

10月、11月の2ヶ月間は「友だちの良さ発見!!『〇〇力』を見つけよう!」という生活目標でした。普段の学校生活はもちろんのこと、運動会・文化祭をはじめ持久走記録会や縦割り班遠足など、大小様々な行事を通じて「友だちの良さ」をたくさん見つけ^{りよく}ることができました。体育館入り口廊下にある掲示板は、お互いに伝え合った『〇〇力』カードで溢れんばかりになっています。

さてそこで、12月はいよいよ「自分の良さ」に目を向ける番です。友だちや先生方からもらったカードを参考にしっかりと自分を見つめて、自分の良いところを探す…というか、自分の良さに気付いてほしいと思います。もしかしたら今まで全く思いもよらなかった自分の良さがあったり、今までは「悪い」と思っていたことが、逆に「良さ」だったと気付くことがあるかもしれません。

そして17日(木)なかよしタイム(昼)に「未成年の主張『自分すてき★宣言』in 東山大会」の開催が決定しました！一人ひとりがみんなに向かって、「ぼくは…わたしは…こんなに良いところがあるよ～これを頑張っているよ～」と宣言やアピールをします。

堂々と自分の良いところを発表し、みんなで認め合って令和2年を締めくくりたいと考えています。保護者・地域の皆様…ご都合がよろしければ、子どもたちの「自分すてき★宣言」を聞きにおいでください。

～4年生 発表朝会から～ 山っ子の「〇〇力」^{りよく}

今日の発表朝会では、4年生がこれまで社会の授業で学習したことを発表しました。4年生の社会科では自分の住む県や市について学習します。11月には東小の4年生と一緒に、県庁や県立自然科学館に見学に行っています。

発表は三択のクイズ形式で①新潟県の所有しているヘリコプターの数？、②明治時代中頃までの旭橋の渡し賃は？、③新潟県と隣接する県数は？、④新潟県のシンボルの花は？、⑤新潟県のシンボルの鳥は？、という5問で、選択肢も工夫された良い問題でした。旭橋に渡し賃が必要だったとは初めて知りました。

特に良いと思ったのは、ともすると難しかったり興味を引かなかったりする学習の問題を、4年生の5人が選択肢を工夫したり、ジェスチャーでカウントダウンしたり、賞状を出したりして、みんなに楽しんでもらおうとしていたことです。そして一方のクイズに答える他学年のみんなも、楽しんで参加して4年生を盛り上げようという雰囲気を感じられたことです。クイズが終わって、4年生が感想を求めると10人ほどの手がサッと上がります。4年生に「良かったよ、面白かったよ…」と伝えたいという気持ちの表れなのです。

こんな姿を見ると、改めて子どもたちの成長ぶりを感じます。「〇〇力」^{りよく}と一言ではいい切れない、子どもたちの優しさ・思いやりに溢れた何とも言えない雰囲気こそが、山っ子の「〇〇力」^{りよく}なのだと思います。

